

構成修正の新旧対応表

(資料1 別紙2)

答申の方向性（案）で示した構成
(5/14提示)

答申の骨子案の構成
(第2回審議会で提案予定)

| | | | |
|------|---|------|--|
| はじめに | | はじめに | |
| | — | 第1章 | 家庭教育支援の現状と動向 |
| | | 第2章 | 課題と今後の方向性 |
| 第一章 | 「家庭教育」を取り巻く状況と課題 (社会的な課題) | | 1 「家庭教育」を取り巻く課題 |
| 第二章 | 「家庭教育支援」を取り巻く状況と課題 (施策としての課題) | | 2 「家庭教育」を支える取組に関する課題 |
| | (前文) | | (1) 義務教育期以降における支援体制について |
| | 課題1 小学校就学を境に、支援策が手薄になっている | | (2) 家庭教育支援チームの組織化について |
| | 課題2 行政主導で新たに「家庭教育支援チーム」を組織することはハードルが高い | | 3 今後の方向性 |
| | <コラム> | | <コラム> |
| 第三章 | 家庭教育支援の目的と取組と方向性（提言） | 第3章 | 提言 |
| | | | 1 地域が家庭を支える仕組みづくり ～「子育て世帯にやさしい社会」をめざして～ |
| | (1) 目的 | | (1) 取組の方向性 |
| | (2) 範囲 | | |
| | (3) 方向性 | | |
| | (4) 県の役割 | | (2) 具体的な実践事例 |
| | 事例 | | 2 県の役割について |